



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

1990.3.9 No. 号外

解雇予告通知策動を許すな

一六〇〇名の首切りを許すな
三月ストで解雇を粉碎しよう

JRは地労委命令を守れ!

国鉄清算事業団当局は七日、JRに採用を求めて闘い続けている清算事業団労働者一六〇〇名に對して、三月二〇日すぎにも解雇予告を行うことを記者発表した。九日に解雇提案を各組合におこなうというのである！

三年間もの間、清算事業団労働者を塗炭の苦しみのなかに投げ入れておいて再度解雇しようというのだ！自らの不当労働行為が、全国各地で認定されているが、すべてを居直り、白を黒と言いくるめて解雇しようというのだ！断じて許せない！こんな暴挙がかったであつたろうか！

われわれは怒りをこめて、この全員解雇攻撃を粉碎し、全員の原地原職奪還のために、この三月を全組合員の総決起・総行動で闘い抜こう。

しかも事業団理事長・杉浦は、「残った一六〇〇名は、地労委命令を背景にして、再就職に意欲のない者だから解雇する以外ない」というのである！何という言いぐさか！国の行政機関たる労働委員会が、国鉄IIの違法行為を認定したことに對し、それを守れ、と主張するのは当然の事ではないか！違法行為をおかしたのは事業団II JRなのだ！百歩ゆずるとしても、事業団当局は、この三年間「再就職」できるような条件を一度でも「斡旋」したことがあるというのか！すくなくとも千葉の雇用対策

支所は、一件たりとも、そのような条件の再就職先を提示したことなどないのである。

三年前不当労働行為に基づく採用差別の結果、清算事業団に追われた仲間達は、この三年間地元JRへの採用を求めて不屈に闘い抜いてきた。

国鉄分割・民営化の反動性・デタラメさと、清算事業団での反労働者性を全国に訴えて、家族を先頭に地域ぐるみで闘い抜いてきた。

こうした清算事業団労働者と家族の不屈の闘いは、当初「三年たてば皆辞めるだろう」とタカをククっていた当局に對して、実に一六〇〇名もの労働者が頑張り続けたことによって、国鉄分割・民営化攻撃の反動の本質

を全社会的に暴き出したのである。

しかも昨年一二、五一年一、一八と動労千葉が本州清算事業団労働者の原職奪還をかけた二四時間ストをうちぬくことをとうして、ストライキで闘おうという気運が全国の労働者に満ちあふれ、闘いの情勢が一挙に到来してしまつた。

こうした情勢に恐怖したからこそ事業団は、全員解雇の方針をうちだしてきたのだ。だからこの凶暴な前代未聞の攻撃には、断固ストライキで闘い抜くことが勝利のカギなのである。

三月ストライキへ！清算事業団当局の全員解雇攻撃を、怒りの炎で焼き尽くそう！

国鉄清算事業団

来月1日時点の就職未内定者

約800人全員の解雇へ

国鉄清算事業団の杉浦理事長は七日、国労など五組合に對し、再就職未内定者の取り扱いについて九日に団体交渉に応じるよう申し入れた。国交では、再就職あっせん業務が終る四月一日時点の未内定者を原則的に解雇する方針であることが説明された。今のところ、八百人前後が内定が決まらずにまわっているが、二十日すぎには、事業団から解雇の予告が行われる予定だ。「地元JRへの再就職」を求めている国労はこれに反発しており、今月中旬から下旬にかけて全国規模のデモストを構えるなど強い闘争を展開する方針だ。

一九八七年四月の国鉄分割・一いまま清算事業団となったが、JR各社の逼迫採用、官庁民営化で、再就職先が決まらずに一人は七千六百二十八人。それや民間企業への就職あっせん

より、今月一日現在では千六百二十六人になっている。所属組合別では、国労が約千四百三十五人、金動が四百八十八人、地動が三百三十三人、動労千葉が二百八十八人、JR東海が三百八十八人、九州が三百八十八人、本州・四国が八百八十八人、事業団は、残った未内定者

国鉄清算事業団

再就職未定者の約800人に

解雇予告 あす提案

日すきには予告が行われそうだが、約半数の八百人前後が未定のまま残っている。そのほとんどが、地方労働委員会の救済命令を背景に、地元JR北海、JR九州への再就職を求めている。事業団と国労などが結んだ協約では、解雇する場合などは、発令日の七日から十日前には本人に通告する取り決めになっており、二十

3/8付 朝日新聞(朝)

3/8付 毎日新聞(朝)